

よくある質問 (NI46XS-U 版)

1・UniversalConfig の導入方法が知りたい	2
2・出力データの先頭/末尾に文字を付与や末尾の改行を削除したい	4
3・Windows10/11 に対応しているか	6
4・ひらがなや漢字を出力したい	7
5・漢字やひらがなが急に出力できなくなった	9
6・OCR 文字列を読み取りたい	11
7・JAN-13 (EAN-13) の先頭“0”が出力されない	12
8・出力データの特定の部分だけを出力したい	14
9・文字化け (文字欠け) して出力してしまう	16
10・USB-COM インタフェースで接続したい	17
11・狙っているところと違う場所を読み取ってしまう	19
12・読み取るコードの種類を限定したい	20
13・スキャナが故障したようです、どうすれば修理できますか？	21

(N202506)

1・UniversalConfig の導入方法が知りたい

※UniversalConfig とは製品の設定を補助する Windows 向けのソフトウェア(無償)オプトエレクトロニクス社製

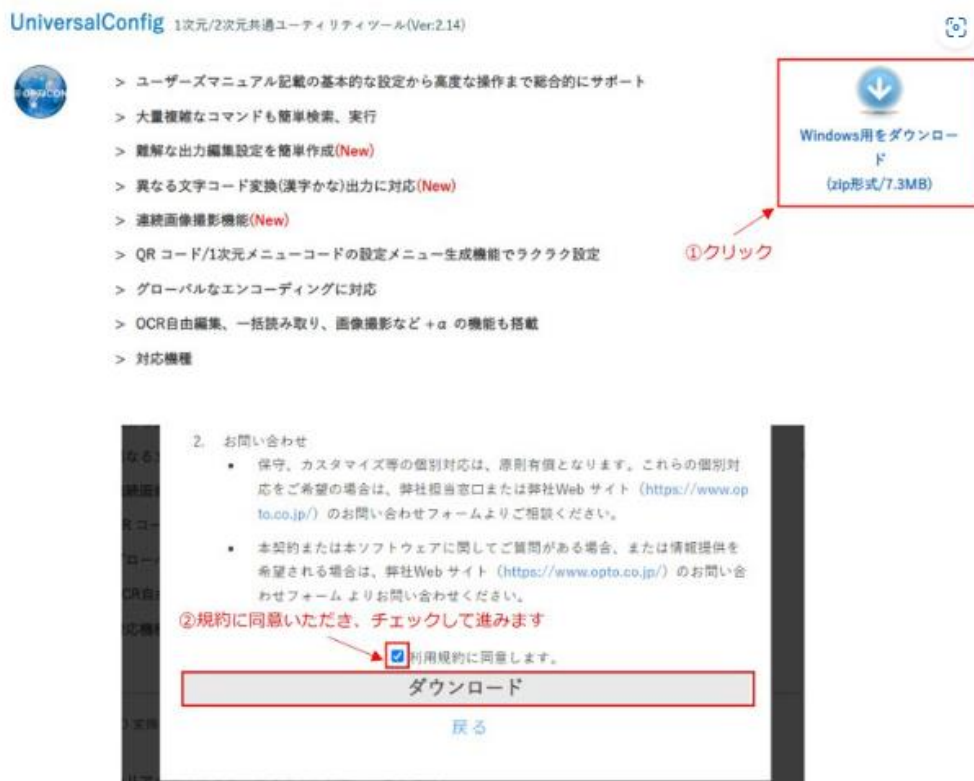
以下の手順で Windows 機器へのインストールを行って下さい

UniversalConfig は弊社製品の設定補助、動作確認を目的とした Windows 上で動作するコマンド送信・メニューコード作成ツールです コマンド送信についてはシリアル通信が可能な製品のみ対応します

(1) 下記 Web サイトより UniversalConfig をダウンロードします

※オプトエレクトロニクス社のツールを使用します

https://www.opto.co.jp/products/tool/tool_download.html#uc



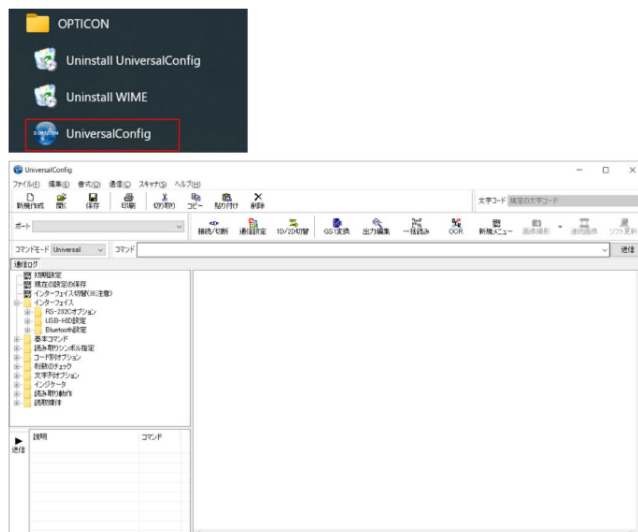
(2) UniversalConfig をインストールします

ZIP 形式の圧縮ファイルを解凍し、インストーラに従ってインストールして下さい



(3) UniversalConfig の起動確認をします

ショートカットまたはプログラムから UniversalConfig を実行します



ワンポイント

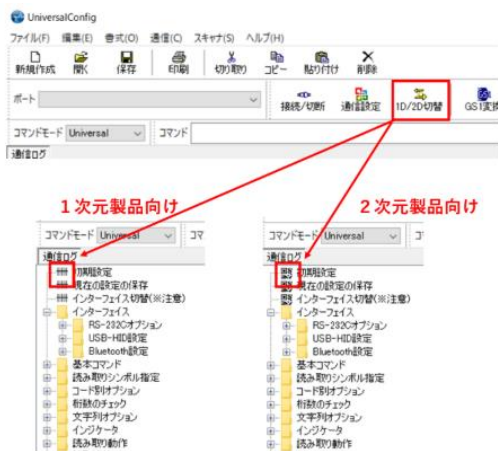
UniversalConfig の使い方についてはヘルプから参照することができます



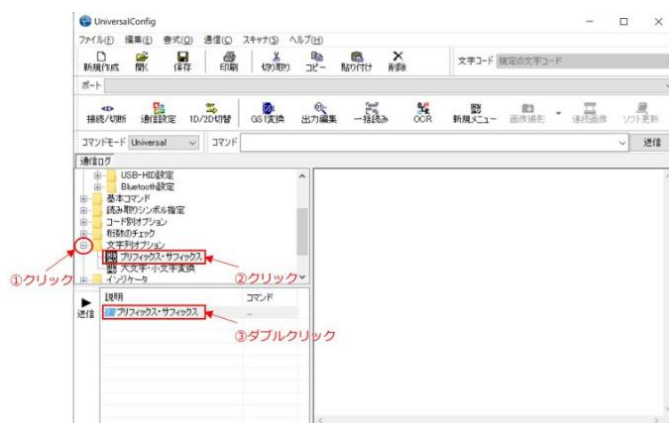
2・出力データの先頭/末尾に文字を付与や末尾の改行を削除したい

UniversalConfig を使用して次のように設定します

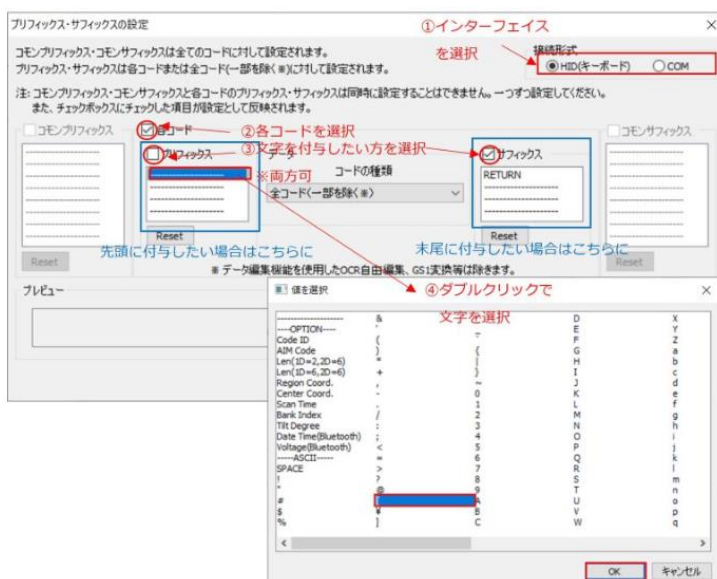
- (1) ご使用の製品に合わせて設定コードの種類(1D/2D)を変えます
NI46XS-U は 2次元製品となりますので、2D を選択して下さい



- (2) プリフィックス・サフィックスの設定ウィンドウを開きます
※本設定では全ての種類のバーコードに対して一律同じ設定が反映されます



- (3) 付与・削除したい文字を設定します
ご使用の製品のインターフェースをご確認下さい (NI46XS-U の初期設定は HID キーボード)
次に値を設定します



- ① インタフェースの選択
- ② コードの選択
- ③ プリフィックス/サフィックスを選択
- ④ 付与したい文字を選択
- ⑤ 設定できたら「OK」をクリック

改行を削除したい場合は、サフィックスにあらかじめ付与されている「RETURN」を削除します

設定できたら「OK」をクリック

(4) 作成された設定コードをお持ちの製品で読み取って下さい



※QR コードを画面から読取る事ができますが読取りづらい場合はマウススクロールによって設定コードを拡大してお試し下さい

※作成した設定メニューは印刷も可能です

(5) 読取りテストを行い、設定されているかどうか確認して下さい

3・Windows10/11 に対応しているか

弊社所有の Windows10/11 搭載の PC にて USB 接続での動作検証をしており、いずれも正常動作を確認しております。 ※全ての Windows10/11 搭載機器での動作を保証するものではありません

■USB-HID（HID キーボードデバイス）接続の場合

Windows の標準ドライバを使用していますので、特に専用ドライバをインストールする必要はありません。そのまま、PC に USB 接続するだけで OS が認識するとご使用いただけます
Excel やメモ帳、システム上のテキストボックス等へ直接入力が可能です

■USB-COM（仮想シリアルポート）接続の場合

専用の USB-COM ドライバのインストールが必要となります
また、データ通信用にソフトウェアが必要になります
出荷時のインタフェース設定は USB-HID となっておりますので USB-COM でのご使用の場合、バーコードリーダーのインタフェースを USB-COM に切替える必要があります

<ご注意>パソコンの環境によっては USB ドライバの相性等でうまく動作しないことがございますので、お客様の環境下で動作確認をお願いいたします

4. ひらがなや漢字を出力したい

ユーティリティツール UniversalConfig を使うことで容易に作成できます
他の PC でスキャナを使用する場合もレジストリ設定用の VBScript ファイルが出力されます
のでそれを対象の PC で実行するだけで容易にレジストリ設定できます

以下、設定手順について説明します

UniversalConfig で設定します

1. 設定を作成しメニューを読み取る

コマンド選択サイドビューのツリービューより[インタフェース→USB-HID 設定→文字コード変換]
を選択し、下に表示されたリストビューより[文字コード変換]をダブルクリックします

上記手順で文字コード変換設定ダイアログを起動します



スキャナが対応しているのを確認するため、画面上のバーコードをスキャナで読み取って下さい
今回の出力設定は「設定音」が鳴った場合のみ設定可能です
「読取音(ピロツ)」がなった場合は今回の設定をサポートしておりませんので、別途ご
相談下さい

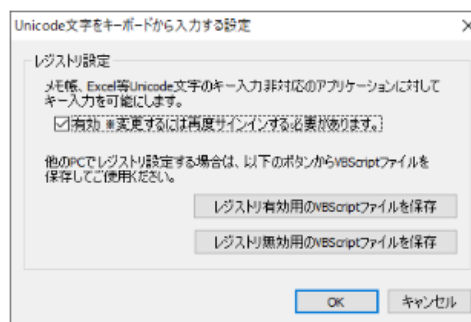
「出力先アプリのコードタイプ」を
「任意のアプリ」に設定して下さい
「読取りコードタイプ」には実際に
ご使用いただくコードに合わせて設
定して下さい



2. レジストリを設定する

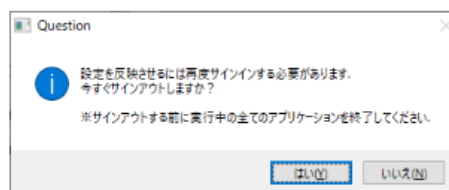
出力先のアプリのコードタイプで任意のアプリ
(メモ帳、word 等)を選択した際は、[レジストリ]
ボタンが表示されますので、これを押下して設定
を行います

ダイアログ上で“有効”にチェックをつけて
[OK]ボタンを押下するとレジストリ設定が
有効となります
無効とする場合は、チェックを外して[OK]
ボタンを押下して下さい



3. PC をサインアウト（または再起動）する

[OK]ボタンを押下すると、サインアウトを求める
メッセージが表示されます
直ちに反映させる場合は実行中のアプリケーション
を全て終了し、[はい]を押下してサインアウトして
下さい 後から手でサインアウトまたは再起動
される場合は[いいえ]を選択して下さい

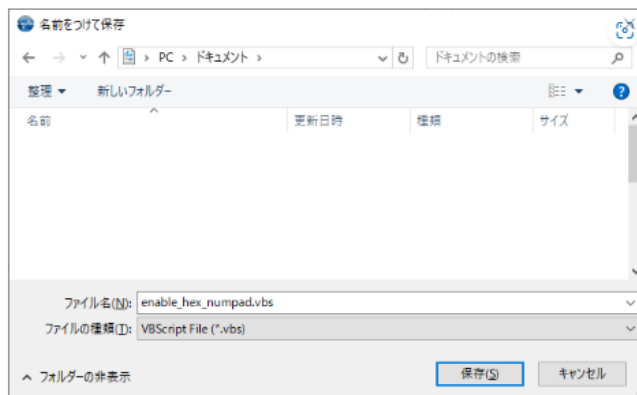


以上で手順は完了です。別の PC へ設定を行う場合は VBScript ファイルを出力し以降の手順をご確認下さい。

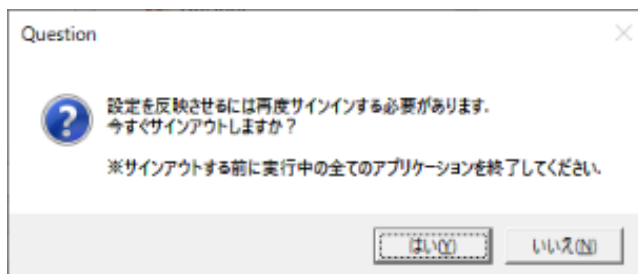
レジストリ設定用の VBScript ファイルについて

他の PC でスキャナをご使用される場合には、VBScript ファイルをご使用下さい。

[レジストリ有効用の VBScript ファイルを保存]または[レジストリ無効用の VBScript ファイルの保存]ボタンを押下すると保存用ファイルダイアログが表示されますので、ファイルの保存先を指定して下さい。



[保存]ボタンを押下すると、スクリプトファイルを保存します。保存したファイルを目的の PC へコピーしてダブルクリックして実行して下さい。実行するとレジストリ設定後、以下の画面を表示します。



直ちに反映させる場合は実行中のアプリケーションを全て終了し、[はい]を押下してサインアウトして下さい。後から手動でサインアウトまたは再起動される場合は、[いいえ]を選択して下さい。

5・漢字やひらがなが急に出力できなくなった

事前にスキャナへ漢字出力設定が反映されていることを確認して下さい

それでも出力されない場合は以下の手順で以前の IME へ戻してから、改めて出力をして下さい

設定を初期化すると漢字出力設定はクリアされます。事前にスキャナに漢字出力設定が反映されていることをご確認ください

また、Windows10 の 2004 以降(※)の OS バージョンで IME の不具合が報告されており、弊社スキャナがサポートしている「Alt + テンキー」による漢字出力方法に影響が出ていることを確認しております

このような問題が発生した場合は、運用中のスキャナ設定と Windows OS バージョンを確認して下さい

※OS バージョンやアプリの組み合わせによりこの方法では解決しないケースもございます

(1) IME の設定画面を開きます

画面左下の検索欄に[IME]と入力して[日本語 IME 設定]を選択して下さい

下のダイアログが表示されたら[全般]を選択して下さい



(2) 以前のバージョンの IME を使う設定をします

ダイアログを「互換性」の項目までスクロールします

ここで「以前のバージョンの Microsoft IME を使う」が「オフ」であることをご確認ください

ダイアログ上のスイッチをクリックすると「IME バージョンの変更」について聞かれます

「OK」を選択するとスイッチが「オン」に変更されますのでそのままダイアログを閉じます





(3)漢字出力をします

メモ帳などのアプリケーションに漢字が出力できるようになった事を確認します

6・OCR 文字列を読み取りたい

UniversalConfig の OCR ツールで設定を作成します

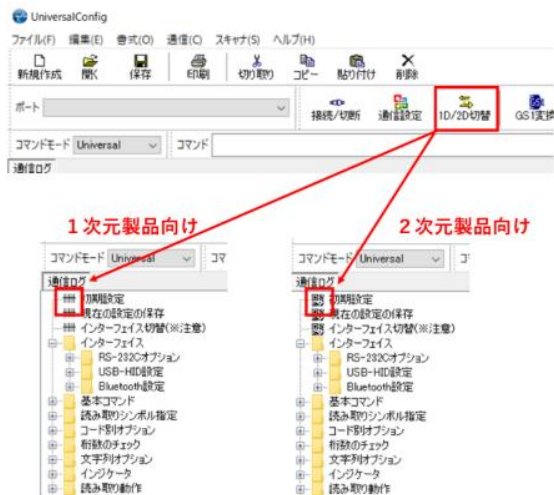
NI46XS-U (USB-HID) に合わせて設定を作成して下さい

OCR モデルまたはアクティベート済のスキヤナでは OCR3.0(汎用フォント)をサポートしています
標準モデルではデフォルトで OCR1.0(OCR-B, OCR-A)をサポートしています
標準モデルで OCR3.0(汎用フォント)の設定を反映させても正しく読み取りできませんのでご注意ください
また、読み取り対象の文字種は数字、英大文字、記号の一部です 日本語の読み取りはサポートしておりません

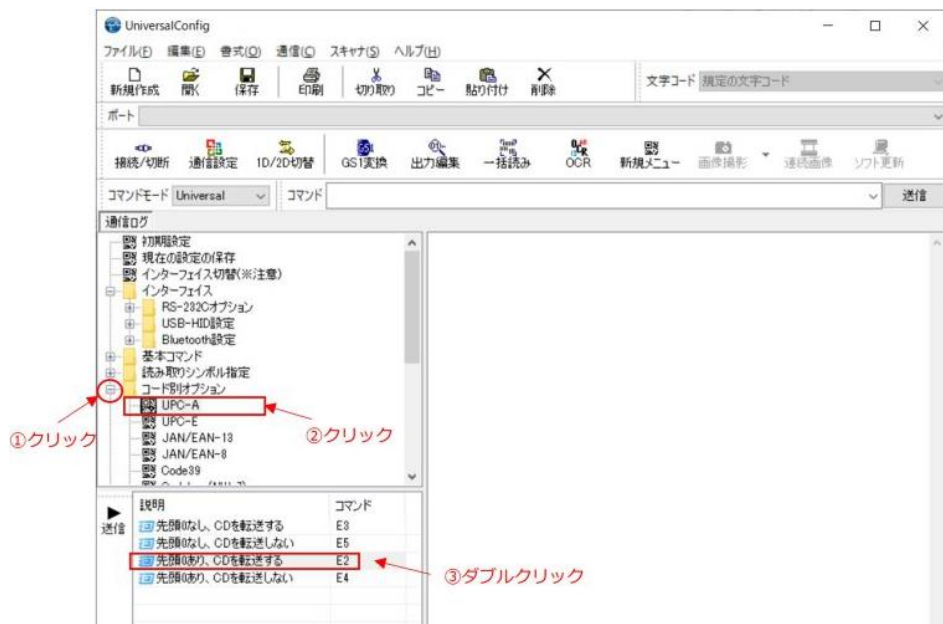
7・JAN-13 (EAN-13) の先頭“0”が出力されない

UniversalConfig を使用して次のように設定します

- (1) ご使用の製品に合わせて設定コードの種類(1D/2D)を変えます
NI46XS-U は2次元製品となりますので、2D を選択して下さい



- (2) コード別オプションから UPC-A の “先頭0あり、CD を転送する” を設定します



(3)作成された設定コードをお持ちの製品で読み取って下さい

1次元製品向け

OCR 新規メニュー 画像撮影 連続画像 ソフト更新

SET (ZZ) 

XXX 
ユーザによる手動コマンド入力

END (ZZ) 

2次元製品向け

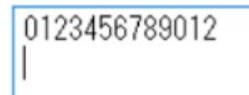
集 一括読み OCR 新規メニュー 画像撮影 連続画像 ソ



※QR コードを画面から読取る事ができますが読取りづらい場合はマウススクロールによって設定コードを拡大してお試し下さい

※作成した設定メニューは印刷も可能です

(4) 読取りテストを行い、設定されているかどうか確認して下さい



ワンポイント

JAN-13(EAN-13)バーコードは先頭の値を0として作成すると先頭0を除いたUPC-A(12桁)と全く同じバーコードとなり、見分けがつかなくなります。

弊社製品ではこの場合UPC-Aと認識する仕様となっているため、「先頭0が出力されない」「12桁になる」という風に見えてしまいます

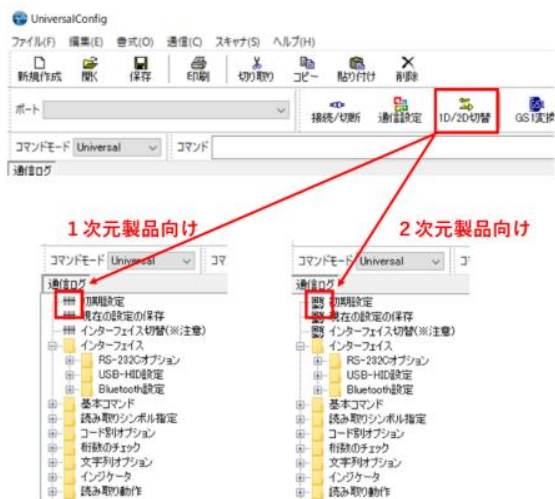


8・出力データの特定の部分だけを出力したい

UniversalConfig を使用して次のように設定します

(1) ご使用の製品に合わせて設定コードの種類(1D/2D)を変えます

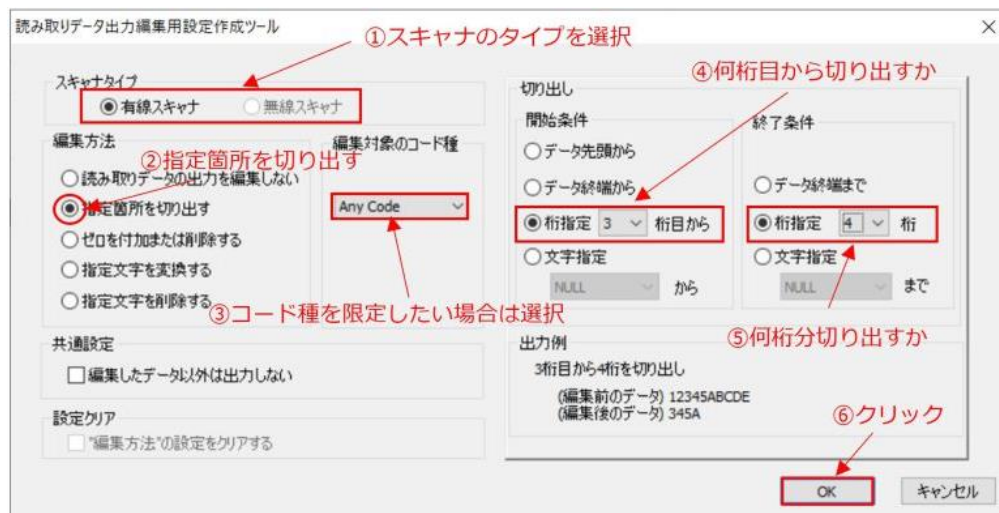
NI46XS-U は2次元製品となりますので、2D を選択して下さい



(2) 「出力編集」ボタンをクリックし、ダイアログで出力したい箇所を設定します

本例では3桁目から4桁分を出力する設定

※既に出力編集を設定している場合は古い設定は消えてしまうのでご注意願います



- ① スキャナタイプ (有線スキャナ)
- ② 指定箇所を切り出す (3桁目から4桁分)
- ③ コード種別の設定
- ④ 切り出し開始条件 (3桁目から)
- ⑤ 切り出し終了条件 (4桁)
- ⑥ OK

※一度設定した出力編集設定を削除したい場合

出力編集ウィンドウを開き「“編集方法”の設定をクリアする」をチェックして「OK」

読み取りデータ出力編集用設定作成ツール

スキャナタイプ
☒ 有線スキャナ ☐ 無線スキャナ

編集方法
☒ 読み取りデータの出力を編集しない
☐ 指定箇所を切り出す
☐ ゼロを付加または削除する
☐ 指定文字を変換する
☐ 指定文字を削除する

編集対象のコード種
Any Code

共通設定
☐ 編集したデータ以外は出力しない

設定クリア
☒ “編集方法”の設定をクリアする

OK キャンセル

9・文字化け（文字欠け）して出力してしまう

発生事象に合わせて運用環境を見直します

※事前確認 キーボード言語設定が正しく設定されていることをご確認ください

例えば、スキャナが英語キーボードで PC(IME)が日本語キーボードの場合、「@」を「”」に、「+」を「~」に出力してしまいます。このような場合は、スキャナのキーボード設定を日本語キーボードに変更することで文字化けが解消しますので、クイックスタートガイド記載のメニューまたは UniversalConfig より作成したメニューを読み取って下さい

!	"	#	\$	%	&	'	()	=	~	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	¥

日本語キーボード
(例: Shift+ 2 → “)

~	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	~	{
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

!	@	#	\$	%	^	&	*	()	-	+
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	=

英語キーボード
(例: Shift+ 2 → @)

USB-HID インタフェース(Bluetooth 製品の場合、HID モード)で文字化けや文字欠けが発生した場合は、発生頻度や出力内容により対応方法が異なります。該当する方を参照して下さい

文字化け（文字欠け）内容が毎回異なる場合

一般的に、文字化け(または文字欠け)発生確率が 100%ではなかったり、文字化け内容が毎回異なる場合はスキャナからシステム(PC)までの USB でのデータ転送は正常に行われているが、その先のキーコード出力動作時にシステム側で取りこぼしが起きている可能性が考えられます。これは、HID(キーボード)出力で文字欠けが発生する原因の一つとして、例えばご使用のアプリケーションによりシステムに何らかの異常な(大きな)負荷がかかっているなどの理由が考えられるからです

この事象の場合はキャラクタ間ディレイを設定することで解決する可能性がございますので、UniversalConfig をダウンロードしキャラクタ間ディレイの設定を作成、スキャナへ反映させてご運用環境に合わせて調整して下さい

文字化け（文字欠け）内容が毎回同じ場合

文字化け(または文字欠け)内容が毎回同じ場合は出力内容のテキストと事象発生するコード画像をテクニカルサポートへ送付して下さい

どのような条件で事象再現するかを弊社で確認します

なお、出力内容より発生事象の推測は弊社でできる可能性はございますが、事象再現しない場合はお客様環境で何が発生しているかまでは解析できません

この事象の場合はスキャナがお客様のシステムを使用するためのキッティングおよびセットアップがされていない可能性がございます

その場合、お手数ですが正式な設定内容をご購入先販売店様またはシステムの販売会社様へお問い合わせ下さい

ワンポイント

USB-COM インタフェース(Bluetooth 製品の場合、SPP モード)への変更が可能な場合、WIME(Bluetooth 製品の場合、WIME bt)が使用できます。WIME(WIME bt)はキーボード入力と同様のテキスト入力が可能となるツールで、キーボード入力よりも高速に安定して入力を行います。WIME ツールはオプトエレクトロニクス社 HP よりダウンロードして下さい

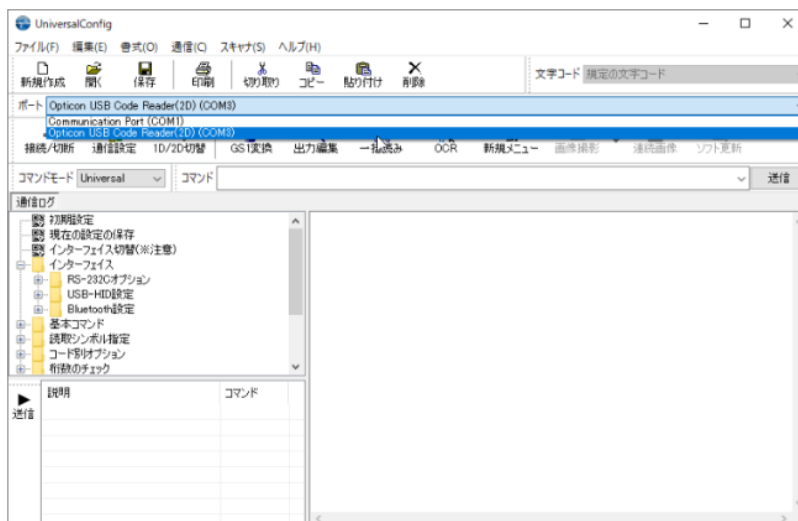
10・USB-COM インタフェースで接続したい

USB-COM ドライバをインストールして COM ポート接続します

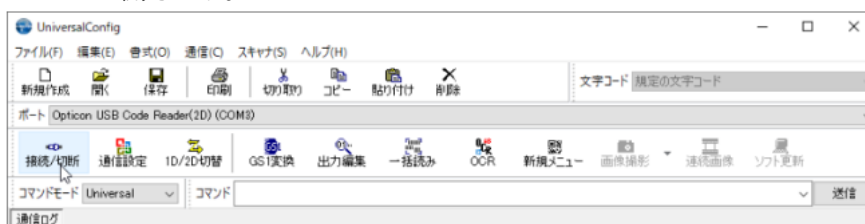
※Universal Config を準備しておいて下さい

手順詳細

1. USB-COM ドライバをインストールする
下記(オプトエレクトロニクス社 HP)より USB-COM ドライバをインストールして下さい
https://www.opto.co.jp/products/tool/software_dl.html
2. スキャナを USB-COM インタフェースに設定する
購入時同梱されておりますクイックスタートガイドより「USB-COM インタフェース初期設定」メニューを読み取って下さい
手元にない場合は Universal Config で作成できます
3. COM ポート番号を確認しアプリケーションと接続する
2 まで完了した時点で USB-COM ドライバがロードされ、COM ポート番号が割り振られます
デバイスマネージャで「Option USB Code Reader(1D または 2D)」が接続されている COM ポート番号を確認し、その番号のデバイスを Universal Config(接続対象のアプリケーション)で指定します



UniversalConfig で接続する場合は、[通信->接続/切断]または、ツールバーの[接続/切断]で、上記で確認したポートを開きます。



正しく接続できると以下ようになります。



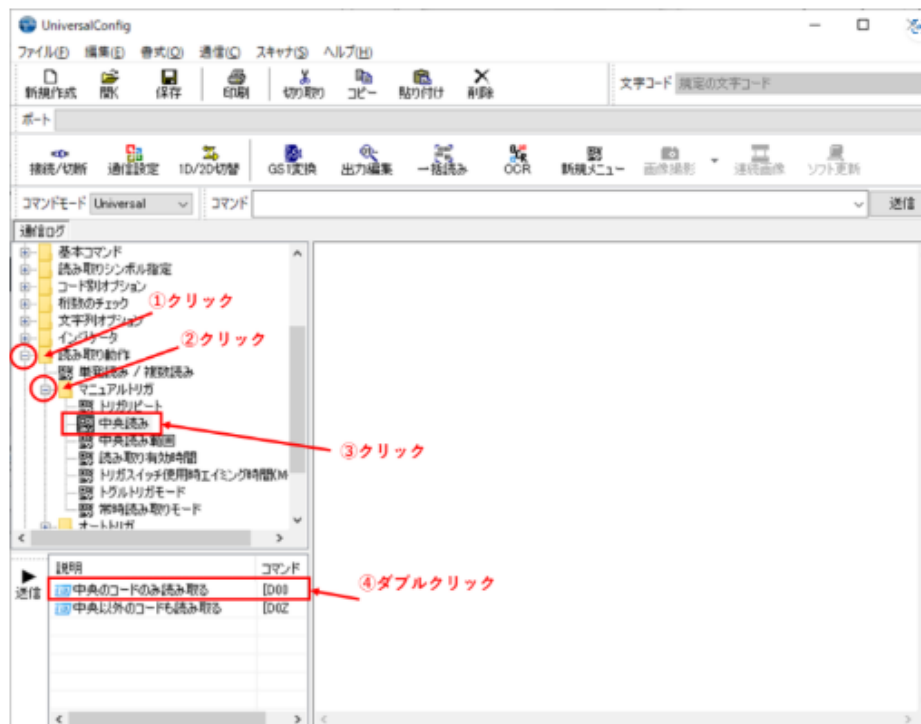
以上で完了です

COM ポート接続したスキャナでバーコードを読み取ると、UniversalConfig のエディタ内にデータが出力されます

また、スキャナはコマンドによる制御や画像撮影などができるようになります

11・狙っているところと違う場所を読み取ってしまう

- (1) 読み取り動作、マニュアルトリガから中央読みの”中央のコードのみ読み取る”を設定します
- (2) UniversalConfig を使用して次のように設定します



ワンポイント

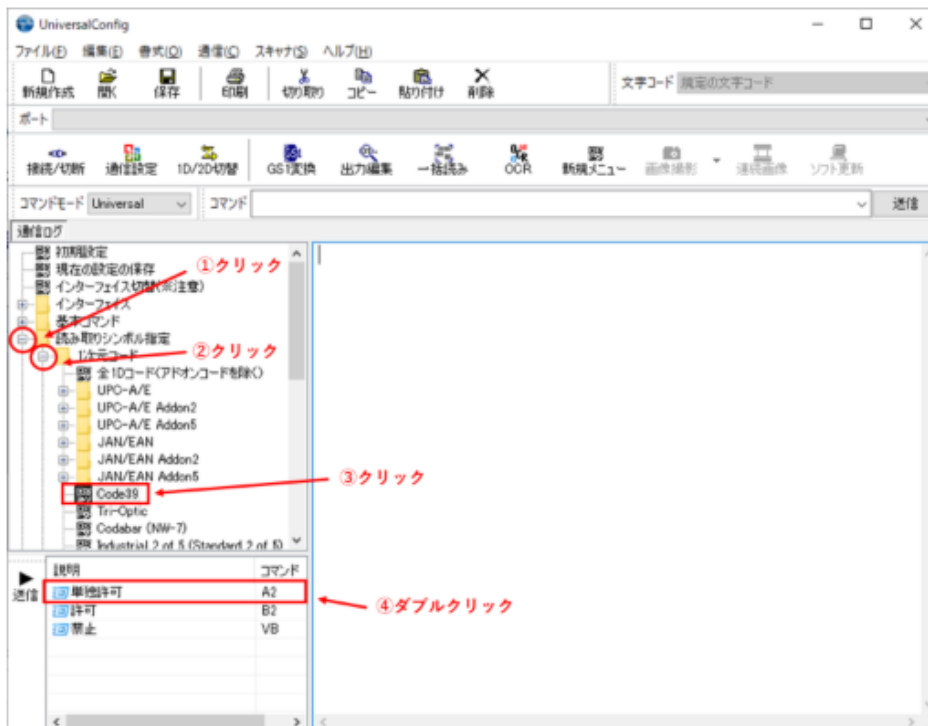
中央読み機能は、複数のコードが近接している場合に読み取り対象コードを読み取るための機能です。画像の中心部分がコードの内部にある場合のみ、読み取りを行います。ファームウェアバージョン BD01J11 からは中央読み範囲の設定をサポートしています (UniversalConfig のメニューツリーでは中央読み設定の一つ下)。

12・読み取るコードの種類を限定したい

(1)読取りシンボル指定からコード種を指定し設定します

UniversalConfig を使用して次のように設定します

本例では Code39 単独許可設定を作成する場合の例で説明しています



- ① 読取りシンボルを指定 (クリック)
- ② 1次元コードより選択 (クリック)
- ③ Code-39 を指定 (クリック)
- ④ 単独読取り許可をダブルクリック

(3)指定したコード種のみが読み取れるようになっていることを確認して下さい

13・スキャナが故障したようです、どうすれば修理できますか？

購入先様に連絡しご購入先様経由での修理依頼をお願いします
弊社 HP 「保守・修理」より「修理ご依頼の流れ」に沿って修理依頼を行ってください

https://www.barcode.ne.jp/service_and_support/